

ルート登録番号 [九州-9]

九州横断の道 阿蘇くまもと路



阿蘇は大空と大草原がおりなす雄大な景観、のんびりとした放牧風景、黒川温泉をはじめ泉質のよい温泉が湧く九州一の観光地です。年間を通じて折々の美しい姿を見せ、写真愛好家の人気スポットともなっています。

阿蘇と熊本をつなぐ道は、かつて加藤清正が造った豊後街道でした。熊本と大分の鶴崎を結ぶ道で、江戸時代細川藩の参勤交代路としても利用されたのです。当時の武士たちは、熊本城を出発して雄大な阿蘇を横断し、九重から大分に入りました。

私たちは、阿蘇の魅力である草原景観の保全と、誰もが旅を楽しむことのできる「ゆっくり寄り道ツーリズム」の創出を目指して活動を展開しています。

九州横断の道 阿蘇くまもと路

代表 坂本 正



《活動の紹介》 美しい風景づくりをテーマに多様な活動が展開されています。 それが、地域に活力を与えています！

○野焼き

九州一の観光地阿蘇の魅力は、なんといっても広大な草原です。この草原は、野焼きと放牧により人々の手で守られてきた景観です。

阿蘇の野焼きは、毎年3月から約1ヶ月ほどかけて行われます。

野焼きの面積16,457ha、延焼を防ぐ重要な輪地切りの総延長は、640kmにも及び、1年の大半をかけて、野焼きボランティアの育成、野焼きの準備である輪地切りと野焼きを行っています。これほどの規模を誇る野焼きは、ここだけです。

野焼きシーズンは、観光客とパトカー、写真愛好家、報道関係者などで溢れかえるほどの盛況ぶりです。



人手不足や高齢化によって、野焼きや輪地切りの持続が困難な牧野へ1999年からボランティアを派遣し続けています。今後はボランティアと地元牧野組合、行政とのより良い関係の構築や、作業の技術向上、環境保全への意識のスキルアップ、地元の後継者を育成するために地元の学校などへの働きかけを行っていきたいです。

公益財団法人阿蘇グリーンストック 副理事長 山内 康二

○ハゼ並木の保存

旧国道57号沿いの熊本市龍田町弓削校区を通るハゼ並木道(旧大津街道)。江戸時代、赤穂浪士47名のうち17名がご沙汰前に肥後細川藩預けとなり、手厚い待遇を受けたことに感謝して藩に贈ったもので、清正公の杉並木とともに大津街道を行き交う人々の心を和ませたそうです。そのハゼ並木の保護と景観美化を目的として活動を展開しています。夏は緑に輝き、秋は赤く燃えたつハゼ並木は今、ボランティアの手によって蘇りつつあります。



地域住民の手で「街道の特性」を活かし守っていくことをテーマに、郷土を通る道の並木枯れ跡や、空き地に並木を植栽し美化活動を続けています。今後は「実効活動の永続性を確立すること」を目標に、活動会員の後継者づくり、官民協働の体制つくり、地域における広報活動に力を入れていきたいです。

並木街道を守るボランティアの会 代表 黒木 嘉次郎さん

○道守活動

道守花壇は、地域を美しくしたいと願う市民が、国道3号及び57号沿いの花壇を年中美しく管理しています。

花壇の開墾から除草、花植え、水やりを年間を通して行い、美しい花を咲かせています。道行く人々から、「きれいね」と言ってもらうことが活動の継続の源です。道守活動は地道な活動ですが、地域の景観形成を縁の下で支えています。

「道守」：P66参照



国道沿いに花を植え育て、地域を美しくすることで、熊本県全体の景観を向上し、さらに地域のコミュニティを向上させていく活動を始めました。今後は行政からの資金に頼らず、各花壇が自立して運営できるようなシステムを確立できればと考えています。

道守くまもと会議 代表 坂本 正さん

○九州横断(豊後街道)徒步の旅

九州横断(豊後街道)徒步の旅は、大分県の鶴崎から熊本県の熊本城までの実に31里、約125kmを6泊7日かけて歩く旅。

毎年夏休みに行われ、子どもたち150名ほどと学生ボランティアを含め200名以上の規模となった参勤交代の志士たちが、旧豊後街道を歩き続けます。

この活動は、37年目を迎えており、地域の夏の風物詩ともなっており、毎年大勢の報道関係者が取材に訪れます。宿泊場所では地域の人々との交流会が開催されています。



大分市から熊本城迄の旧豊後街道125kmを子ども達200名が1週間かけて歩くこの旅は、今必要とされている生きる力を育む青少年健全育成体験型プログラムとして高い評価を受け、沿道の方々や多くの皆様に御支援を頂きながら、暑い熱い篠い厚い旅をお陰様で30年以上続けています。全国各地のモデル事業になっています。

NPO法人自然を愛する会JOC 理事長 齊藤 誠治さん

○町屋の保存



熊本市は、熊本城を中心とした城下町です。熊本城は築城400年を迎え、完全復元に向けて整備が進んでいます。ただ、城下町の風情の構築が課題です。城下町の風情を残そうと、現存する町屋を保存し活用する活動が展開されています。町屋見学会を開催し、町屋に関心をもってもらったり、町屋の借り手を探すなど積極的な活動が行われています。



街道の起点となる熊本城下、自分たちの新町・古町に興味を持って始めた、マンションが林立する中での町屋の保存活用の取り組み。30代を中心のメンバーが掃除や補修に汗をかき、賑やかに町に溶け込んでいく建物があれば、解体される見事な梁を悔しさで見守ることも。今残るものを見直すことは今しかできない！今後もやります！

新町・古町町屋研究会
代表 宮本 茂史さん

■問合せ先

九州横断の道 阿蘇くまもと路 事務局
TEL 096-387-6671

《年間活動カレンダー》

- | | |
|-----|--|
| 4月 | 活動スタート式 |
| 5月 | 町屋歩き（新町） |
| 7月 | 道守花壇花植え |
| 8月 | 豊後街道徒步の旅
豊前街道徒步の旅
薩摩街道徒步の旅
日向街道徒步の旅 |
| 10月 | 町屋歩き（新町） |
| 11月 | 道守花壇花植え |
| 12月 | 年忘れ餅つき |
| 3月 | 阿蘇の野焼き
道守花壇花植え |